

みちこだより

(日本共産党・笠岡市議会議員 ひのつ倫子)
自宅〒714-0055笠岡市生江浜965 Tel&Fax 66-1738

2005年10月 No. 22
日本共産党笠岡市議団発行
〒714-0081 笠岡市笠岡5945-12
Tel63-6001 Fax63-4164
携帯090-2862-4775



9月議会のご報告をお届けします。

皆さんの声に耳を傾け、その実現に向け、頑張る決意です。

干拓への残土搬入問題について

6月議会での答弁に触れ、安全対策と今後の見通しについて質問。また残土が持ち込まれて1年「そろそろ何か起きるぞ。」との関係者の声現実となった。10トントラック3台分の異臭を放つものが夜間運び込まれ、県と市が対応しそのサンプルを分析中。行政の「それを土壌に混ぜさせる」との指導に「結果も出ていないのに混ぜ合わせられてはたまらん。わけも分からんものは撤去させてくれ」との声が出ている。



「牛ふんに、何かを混ぜたものでは？」との声も……

また「牛が5頭飼われている、前の牛舎で。それなら何のための土壌改良の土だったん？もともと肥沃な土地。土壌改良必要ねー。コンクリートみたいに固まっている土。何が改良じゃー取り除くしかねー。その上に良質の土を入れると言っている。そんなことをしたら、回りの土地がもり上がる。」という声も聞かれ私も同感。一方でこのようなことがおきてる。市の方針の安全対策と、行政指導がどう関わるのか尋ねた。

これに対し市長は「3ヶ月に一度の水質検査を行なう。8月末干拓に持ち込まれたものは牛の糞であり、肥料だとのこと。土地利用変更届が出された。牛も飼っている。業者は農業を営もうとしている。行政の対応は土地改良区の皆さんに合意してもらっている。新たに持ち込まれたものが産廃なら撤去させる。」との答弁。(9月6日に「16日までに撤去しなさい。」との勧告が県より出されています。)

産廃物減量等推進審議会の答申について

ゴミの減量化を図る為、従来の45ℓ、30ℓのゴミ袋を30ℓに一本化し、無料配布の枚数も減らすという提案が出された。ゴミの減量化を図ることは必要だが、平行して市民が利用しやすく、便利であるべき。アンケートにも半数以上の方が「現状のままで減量化できる」と答えている。

また、一人暮らしのお年よりが出すゴミは大量ではない。お年寄りが袋の節約で、気まづい思いをし人の袋にそーっと入れるようなことは避けてあげるべき。

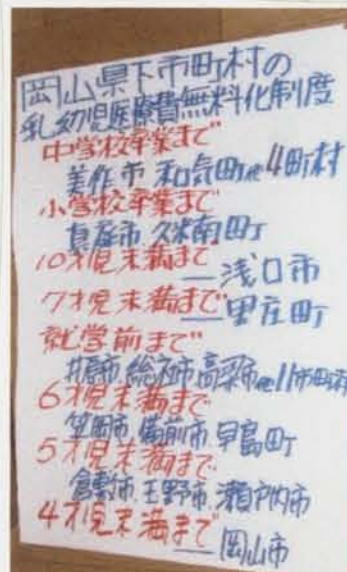
30ℓの袋に1本化するのではなく、たとえば小さめの15ℓ袋も作り、45ℓ、30ℓ、15ℓの3種類に分けるなどの工夫が必要だ。30ℓ袋に統一し無料配布を減らすというのは市民の声に応えたものとはいえないと質問。

これに対し市長は「市民の声を十分聞いた方針だ。ゴミ袋の一本化はゴミの減量化と深く関わっている。ごみ量の多い家庭には、枚数を増やしている。減量化に向けて市民の協力が必要」と答弁。

学校施設の耐震化について

地震災害時に子供の命を守り、被害を最小限にとどめることと、地域の避難場所としての学校施設の耐震化を願ってこれまで3度にわたりこの問題で質問。特に南海・東南海地震対策を想定し、早急な対応を求めてきた。

平成14年9月「3年間で耐震調査を行うよう来年度から検討。」との答弁は具体化されず、平成15年6月「費用のかからない耐震調査の仕方を検討」との答弁はそのまま。平成16年9月「耐震診断は必要。未診断が93%と多いので財政的状况を見て優先順位を決め、早い機会に対応する。」との答弁。答弁が具体化されなかったり、子供・市民の命に関わる大切な問題にもかかわらず、財政上の問題が優先され、対応が後回しとなる答弁の繰り返し。



乳幼児医療費無料化制度改善について

平成12年度8月、笠岡市はその対象年齢を4歳未満から6歳未満まで引き上げ、県下でも先進的な制度改善となった。平成17年度4月より県の施策に合わせ、入院のみ就学前までの無料化という一部改正があったが、近い将来合併する町村を考えにいたった県下32市町村の中では26番目と低い。このままでは笠岡は井笠地域で一番悪くなる。子育て支援、少子化対策に大切な制度。県下の現状をどう捉えるのかまた今後の改善の見通しを質問。

これに対し市長は「制度改善は大切だが、笠岡市の現状では今の施策で仕方がない」と答弁。(後日倉敷市は来年度より就学前までに改善を発表)

台風14号の災害対策について

昨年のこの期、一連の台風特に16号で笠岡市は大きな被害を受けた。今年も深夜の満潮が台風と重なり、私は約4時間警備に当たっている皆さんのねぎらいを兼ね、昨年大きな被害を受けた金浦、生江浜、伏越、住吉、西本町、西の浜など市民の声を聞きながら巡回した。大きな被害はなかったものの、新たに修理、改善を必要とする箇所が生まれている。又地域の協力体制の確立を必要とするところもある。県と市が協力し合い、実態調査とその対策を考える必要があると思うと質問。これに対し市長は「住民の声を聞き、逆止弁設置、護岸のかさ上げなど年次的に対応していく」と答弁。

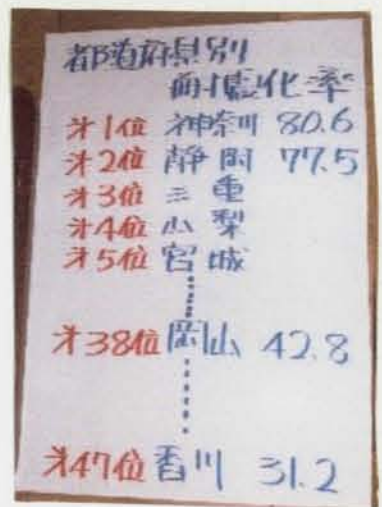


去年ここから浸水。もうすぐ護岸のかさあげ。

16年度決算・一般会計に反対

10月11日本会議において、16年度決算承認案件が提案されました。「歳出における人権政策費の中に旧同和関係予算を特別扱いとし、関係団体への補助の支出を行なっていること」で、一般会計に限り、反対いたしました。共産党2名以外の賛成で承認されました。

今年7月8日、文部科学省は都道府県別の耐震化率を発表。(図参照)
本市笠岡は、未診断率が93%。耐震化率にいたっては全国的にも低い岡山県の中でもはるかに低いと思われる。7月9日、文部科学省は来年度から耐震化を促進させる5ヵ年計画の策定を検討。国の動きを見て、現状と今後の計画をたずねた。



あしあと

- 7/1 社会を明るくする推進大会
- 7/3 岡山県母親大会
(岡山市灘崎町)
- 7/6 生江浜国道下水路の掃除と地盤沈下調査

- 7/28 敬愛園夏祭り
- 8/1 北木島訪問
- 8/3 飛島訪問
- 8/4 恵風荘夏祭り
- 8/5 核兵器廃絶を願う世界女性の集いに参加
- 8/6 広島平和祈念式典参加
生江浜夏祭り
- 8/7 私学助成署名運動に参加(建部町)
- 8/10 真鍋島・白石島・高島訪問
- 8/12 笠岡9条の会発足集会
- 8/14 金浦納涼祭
- 8/21 国体民泊班長会
- 8/22 環境福祉常任委員会
- 9/10 金浦中学校運動会
- 9/12 生き生きサロン
- 9/13 広報公聴委員会
障害児学級設置の申し入れ



ヘドロがいっぱいじゃー。これじゃー流れん。

- 大井地区巡回市長室
- 7/9 生江浜地区巡回市長室
- 7/10 国体民泊班長会
- 7/14-15 離島振興特別委員会視察
呉市下蒲刈町他
- 7/21 環境福祉常任委員会
- 7/22-24 日本母親大会茨城県水戸市(23日)、筑波大学(24日)「生きる権利を守ろう」分科会で全国の教訓を学ぶ
- 7/26 平和行進(笠岡一大門)



惜しい！
来年は優勝！！

7/25 山陽高校軟式野球応援



今年60周年、
新たな気持ちで
平和を求め。

- 7/27 戦争賛美の「作る会」の教科書採択をしないでくださいと教育委員会へ申し入れ。



お世話になったみなさん、
ありがとうございました

- 9/20 環境福祉常任委員会
- 9/23 三愛園ふれあい祭
- 9/24 山陽高校サッカー部の応援(寄島)
- 9/25 金浦地区民大会
- 9/27 環境福祉常任委員会

88歳おめでとう、
タントタントタントタント



9/17 笠岡学園運動会
9/18 金浦地区敬老会

お世話になりました



アグリスポーツ公園こちら

★「つたや」東のすみだ橋。
国道沿いの歩道
やっと拡幅されます。

★国道沿いに総合スポーツ公園への
道路標識をつけて頂きました。

- ★台風14号による倒木、枝の処理
- ★市民病院の洗濯場改善要望、
年内に実現見通し
- ★生活相談



応急処置。後日本格修理。

我が家のニュース

さっき言ったことを忘れていないことに何度も気がついて、「あら？私りっぱにぼけてるわ」といってみんなを笑わせる。85歳の母親。新しい家族になりました。九谷焼唐獅子作家勝木作太郎の娘です。

夫の一言

いつもOB、在校生の皆さんの頑張りに励まされます。37年間の勤務に計り知れない誇りを感じています。妻と共に周明、力いっぱい頑張ります。—— 樋之津 周明 (旧姓林) ——



後半風上一気に行こうぜー！

なりました

きゅうくつで通れない。
広くなりました。
柵もついて幅3.5メートルに



★生江浜国道下の2ヶ所の水路に
ゴミよけネット設置

★東本町県道路面の粗さ補修
旧富岡市道の橋路面の整備

★生江浜水門以東の護岸整備を約束。
(現在測量済み)

でっかいが、
平らでなめらか。



★大井ハイランド「フクヤ」
南歩道路面の補修

★金崎橋清掃